

# 「持続可能な大阪・関西万博にむけた 行動計画」のための 個別目標及び全体指標について

公益社団法人  
2025年日本国際博覧会協会

2022年8月26日



## 大阪・関西万博の概要と

「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画」

(持続可能性行動計画) について



- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

## 開催概要

名称 2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）

テーマ **いのち輝く未来社会のデザイン**

サブテーマ Saving Lives（いのちを救う）  
Empowering Lives（いのちに力を与える）  
Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト **People's Living Lab（未来社会の実験場）**

会場 夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区）

開催期間 2025年4月13日～10月13日

想定来場者数 約2,820万人



## 【組織図】

2019年1月30日  
法人設立

2019年4月19日  
万博特別措置法成立

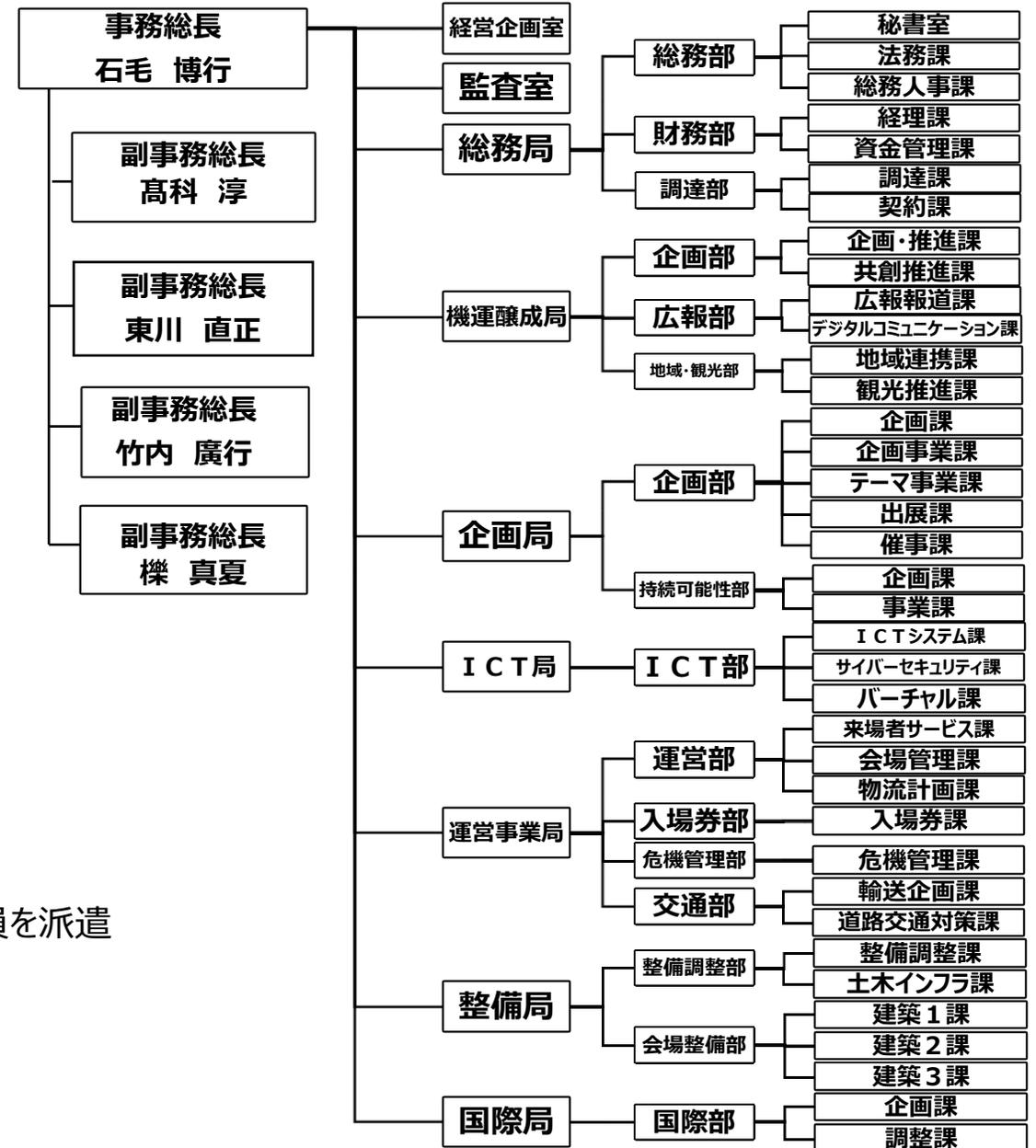
2019年5月31日  
経済産業大臣が当協会を博覧会  
業務を行う法人に指定

2019年10月21日  
内閣府より公益認定を受け、  
「公益社団法人」となる

## ●人員 (2022.8.1時点)

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県市・経済界等より職員を派遣

(約480名)



# 会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



# 会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約610m、  
高さ12m、幅30m



リング1F：グラウンドウォーク



リング2F：スカイウォーク



# 企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

## パビリオン出展

万博のテーマに沿って自由な発想で  
独自に企画・出展する参加

敷地面積約3,500㎡  
9区画  
**募集終了**

## テーマ事業協賛

8名のプロデューサーが企画する  
テーマ事業に協賛社として参加

資金  
施設・物品・役務提供

## 未来社会ショーケース 事業出展

会場内で未来社会の実証・実装や  
テーマを具現化する展示を行う参加

事業出展  
資金・施設・物品・役務提供

## 会場整備参加 運営参加

施設・物品  
・役務提供

## TEAM EXPO 2025 参加

共創チャレンジ  
共創パートナー

## 催事参加

資金・施設・物品  
・役務提供

## 営業参加

営業施設出店  
ライセンスビジネス

## 万博応援参加

広報・プロモーション  
寄附



# 会場レイアウト



会場配置計画  
(2022年7月時点)

色凡例

A	企	タイプA (国・民間企業)
B	国	タイプB (国・国際機関)
C		タイプC
青		テーマ館
茶		営業施設
黒		日本館、催事施設等
白		サービス/管理施設等
緑		休憩所、トイレ



# テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」のコンセプト・展示イメージ



いのちを知る

プロデューサー 福岡 伸一  
I AM YOU ～いのち動的平衡～

コンセプト

私はあなた。私は地球。  
I AM YOU

展示イメージ



いのちを拡げる

プロデューサー 石黒 浩  
いのちの未来

コンセプト

技術と融合することにより、  
いのちの可能性を拡げる

展示イメージ



いのちを育む

プロデューサー 河森 正治  
いのちめぐる冒険

コンセプト

今、ここに共に生きる奇跡

展示イメージ



いのちを高める

プロデューサー 中島 さち子  
いのちの遊び場 クラゲ館

コンセプト

PLAYFUL LIVES!  
いのちが躍る、いのちが歌う、いのちがひらく。  
生きている！という感覚の発露

展示イメージ



いのちを守る

プロデューサー 河瀬 直美  
いのちのあかし

コンセプト

“わたし”の中の“あなた”を知る旅

展示イメージ



いのちを磨く

プロデューサー 落合 陽一  
null<sup>2</sup> 二つの鏡

コンセプト

デジタルヒューマンという新しい身体の写し鏡、  
変形構造体建築による新しい風景の鏡、  
デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて  
磨き輝く命の形を示す

展示イメージ



いのちをつむぐ

プロデューサー 小山 薫堂  
EARTH MART  
Sustainable Dining & Groceries

コンセプト

持続可能な社会の実現に向けて  
食の「当たり前」をリセットし、  
食べることの未来を見つめ直す場所。

展示イメージ



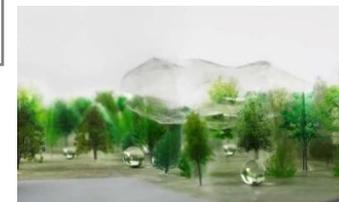
いのちを響き合わせる

プロデューサー 宮田 裕章  
Co-being

コンセプト

Better Co-being

建築デザインイメージ



さらに、大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を4月18日に発表



- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、**多様な参加者が主体となり**、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す**取組を推進する**。



## 共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- 主催者イベントを盛り上げる物品の提供等
- その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動

## 共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援



資金の支援



場・もの の支援



情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、  
大学、国・自治体、社会起業家等

## キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの参加



## 目標、指標について



## 大阪・関西万博におけるESMS構築にむけた取組

## ISO20121に適合したESMSのモデル

持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針  
(持続可能性方針) (2022.4.27公表)

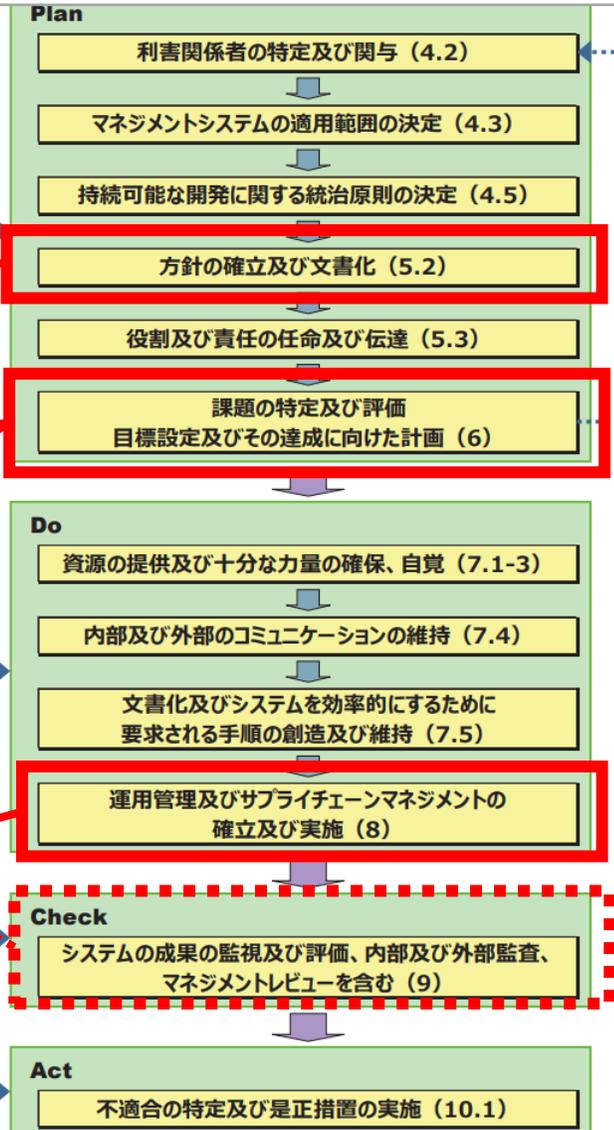


持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画  
(持続可能性行動計画)

各部署の取組、個別目標の設定

<EXPO 2025 グリーンビジョン>  
(2022.4.27公表)

持続可能性に配慮した調達コード  
(2022.6.30公表)



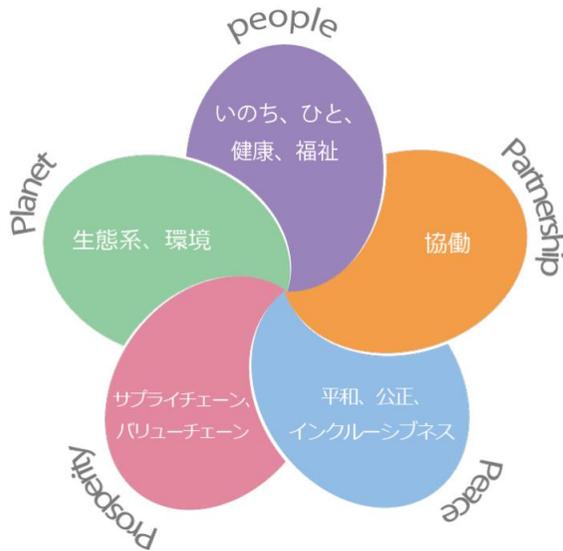
持続可能性方針達成のための指標、個別の目標もふまえて、万博全体の代表的指標（5～10個程度）を選定。



協会内各部署において、個別の目標、指標を設定。（今回は個別目標案を提示）



大阪・関西万博は、その運営においてもSDGs達成を実現するため、環境や社会への影響を適切に管理し、持続可能な万博の運営を目指す。



## **People (いのち、ひと、健康、福祉)**

生態系を構成するすべての「いのち」を守り育てることの大切さを訴求する。

## **Planet (生態系、環境)**

国際的合意（パリ協定、大阪ブルー・オーシャン・ビジョン）の実現に寄与する会場整備・運営を目指す。

## **Prosperity (サプライチェーン、バリューチェーン)**

「もの」だけでなく、「生活」を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見をレガシーとして、次世代に継承する。

## **Peace (平和、公正、インクルーシブネス)**

多様な人々が積極的に、また安心して参加できる環境を整えるとともに、大阪・関西万博からテーマに基づく多様な考え方を発信できるよう、一人一人を尊重したインクルーシブな万博運営を目指す。

## **Partnership (協働)**

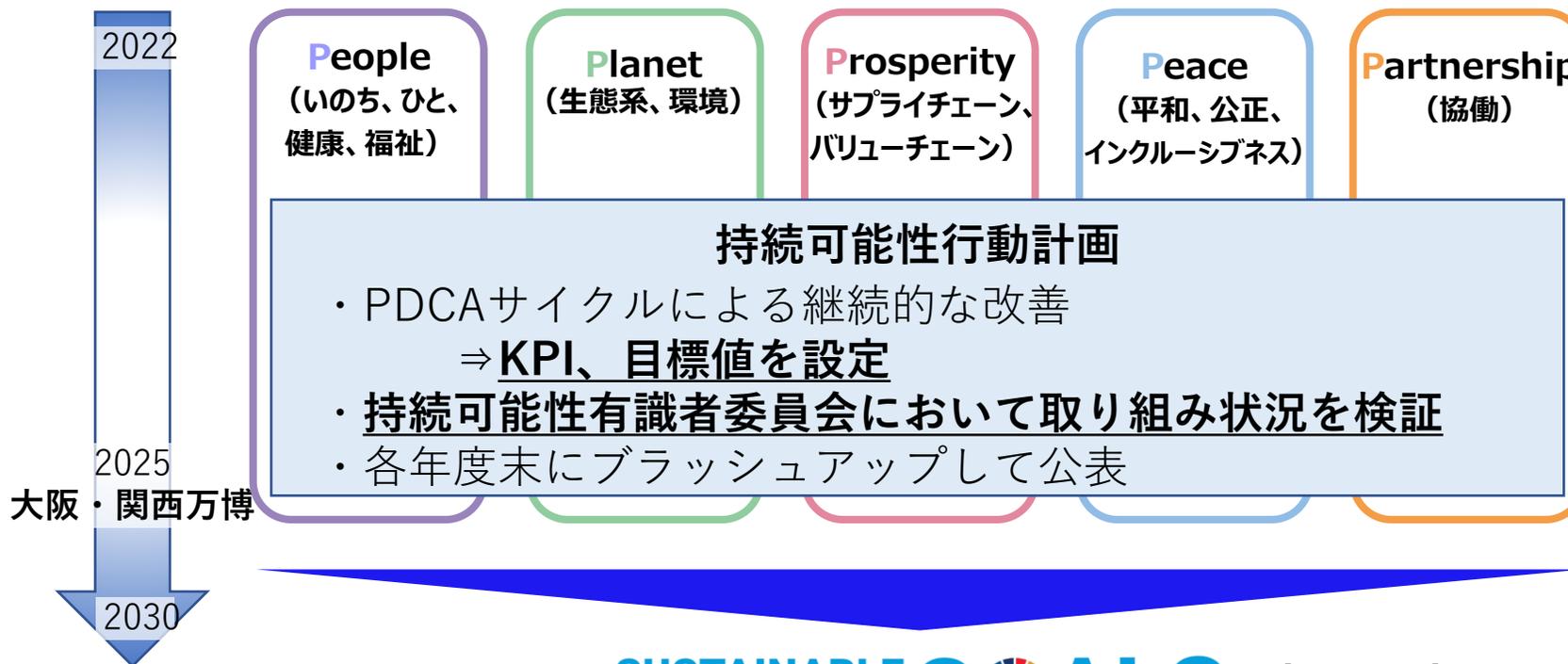
誰もが参加でき、自由にアイデアを交わせる機会を提供する。その中で一人一人がつながりコミュニティが形成されることを目指す。

持続可能性有識者委員会でご議論いただいた「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」は4月27日に決定、公表した。今後はこれに基づいてマネジメントシステムを構築。



# 「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画」 （持続可能性行動計画）の概要

マネジメントシステムでは、KPI、目標値を定めてその達成状況、達成方策の立案の進捗状況を検証し、行動計画という形にまとめる。計画は各年度末に改定。



このKPIは、東京2020大会では、  
①気候変動、②資源管理、③大気・水・緑・生物多様性等、④人権・労働、公正な事業慣行等、⑤参加・協働、情報発信という柱に基づき、組織委員会の各部局、課室で案を出し、決定し、200近くのKPIを策定。

## 気候変動 Towards Zero Carbon (脱炭素社会の実現に向けて)

約280,000t-CO2削減 東京2020大会のカーボンフットプリント  
様々な取り組みにより再エネ100%を目指す  
「水素社会」の実現に向け、水素エネルギーを活用  
環境負荷の少ない輸送を追求  
市民によるCO2削減・吸収活動をレガシーに

## 資源管理 Zero Wasting～資源を一切ムダにしない～

大会を象徴する物品に再生材を活用  
世界的課題、使い捨てプラスチックを削減  
調達物品はリユース・リサイクルを追求  
ごみの再資源化 まずは減らす～きちんと分別～しっかりリサイクル

出典：Tokyo 2020 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した運営計画 第二版から抜粋



## 大気・水・緑・生物多様性等 City within Nature/Nature within the City～自然共生都市の実現～

暑さ対策を推進  
大会における水循環への配慮  
都市における水環境機能の向上

競技会場等の緑化  
花と緑の景観形成  
自然環境の再生と生物多様性の確保  
生物多様性等に配慮した資源の消費

## 人権・労働、公正な事業慣行等 Celebrating Diversity～多様性の祝祭～

多様な組織委員会職員  
多様な大会スタッフ  
大会運営におけるD&I\*の実現  
人権対応体制  
アクセシビリティの確保

## 参加・協働、情報発信 (エンゲージメント) United in Partnership & Equality ～パートナーシップによる大会づくり～

日本全国が参加 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト  
使い捨てプラスチックを再生利用した表彰台プロジェクト～みんなの表彰台プロジェクト～  
被災地と世界を結ぶ復興のモニュメント  
国際連合との連携 スポーツにできること  
様々な主体との連携  
次世代への教育と参加機会の創出  
持続可能性への理解と行動の促進  
大会期間中の情報発信

\* ダイバーシティ & インクルージョン

出典：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性大会前報告書から抜粋



# (参考) 目標設定について (東京2020大会の例①)

東京2020大会では、200の指標のうち重要なもの6つ程度を報告書等では大きく取り上げている。また、指標としなかったものでも進捗のあったものを大きく取り上げて報告している。

## 数字で見る東京2020大会の持続可能性

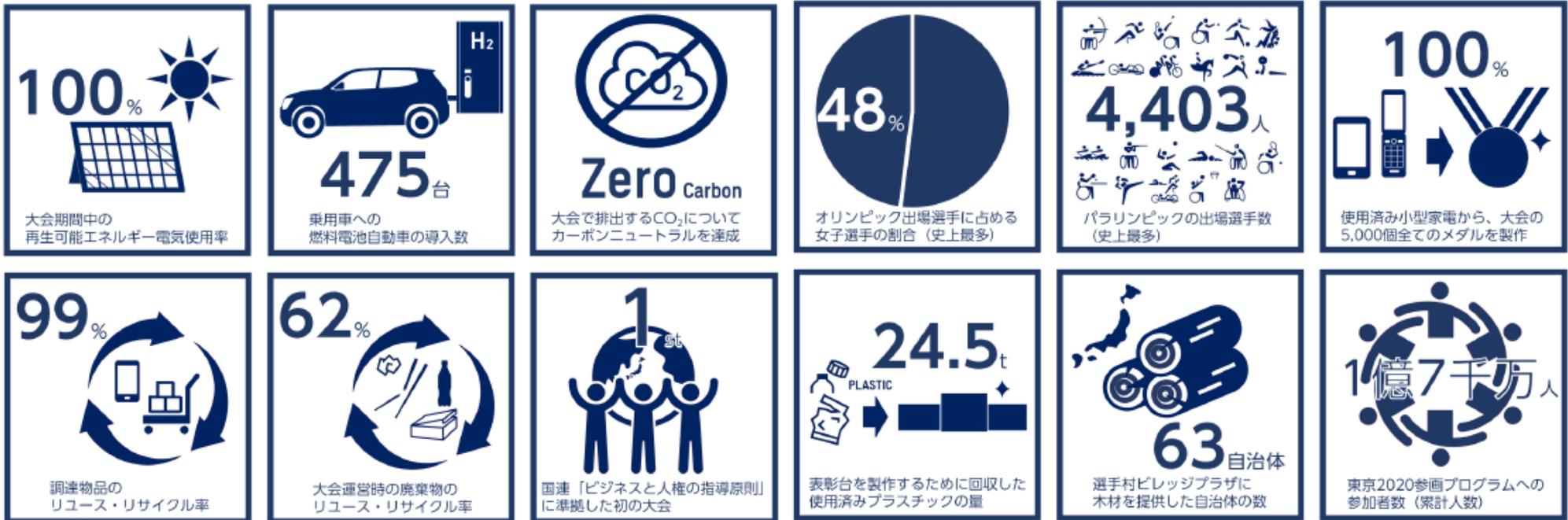


出典：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性大会前報告書より抜粋



1.1 数字で見る東京 2020 大会の持続可能性

Our Achievement



出典：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性大会後報告書 (2021年12月) より抜粋



## 個別目標について





# 個別目標と紐づく各部署の取組について(1)

5つのP	個別目標	取組内容
People	①フューチャーライフ万博会場における未来の創生に向けた先端技術を活用したエリアの構築と運営	バリアフリーな会場施設のできる限りの実装 Society5.0の実現に向けた様々な技術を活用したエリアの構築
	②いのちをテーマとした外部団体と活動との連携	修学旅行や校外学習の場として万博を選択してもらえるように、チケット販売事業者と協力してチケットを積極的に販売する 大阪大学をはじめとするアカデミアや市民を巻き込んで「いのち」とは何かを掘り下げる
Planet	①組織運営におけるCO <sub>2</sub> 削減の徹底	退社時のコピー機の節電設定の徹底、お昼休憩時の電気OFF 協会職員の出張の際には、公共交通機関の利用を原則とする
	②会場建設における環境性能の最大限の確保	自然採光等による照明負荷低減や断熱・通風等による冷房負荷低減など、できる限り省エネルギーを考慮した施設建設を行う。 建築環境総合評価制度（CASBEE）の採用 低排出、低騒音、低振動な建設機械や工法をできる限り採用。
	③DAC技術など脱炭素に向けた革新的技術の導入	大気中からCO <sub>2</sub> を分離・回収するDAC技術を導入し、回収したCO <sub>2</sub> について地中への貯留やコンクリートへの固定、メタネーション等CCU（Carbon Capture and Utilization）の原料として活用等することで、CO <sub>2</sub> 排出量削減に寄与する。
	④カーボンニュートラルに資する取り組み企業の出展支援	ナッジ×デジタルの取り組み導入により、来場者一人ひとりの自主的な意識変革・行動変容を促進する。 環境エネルギー技術やカーボンニュートラルに資する技術・仕組みの理解促進を促す展示の実施 出展者のカーボンニュートラルに資する取組の支援
	⑤CO <sub>2</sub> 排出が少なく、環境負荷の小さい建材、設備、機器の調達	機器選定の際には、できる限りエネルギー消費効率の高い製品を選択し、定めのあるものについては、エネルギー消費効率等の基準を満たすものを利用する。 LED照明や高機能空調設備など、省エネルギー性の高い機器・設備を積極的に採用する。 エネルギー消費性能の高い設備機器を積極的に採用



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(2)

5つのP	個別目標	取組内容
Planet	⑥カーボンニュートラル電力の調達	燃焼してもCO2を排出しない、水素やアンモニアを燃料とした発電によるカーボンニュートラル電力を活用する。
	⑦環境負荷の小さい輸送と次世代モビリティの提供	場内物流・清掃車両に可能な限り電気、燃料電池等環境に配慮した車両の導入を検討する
		物資輸送及び廃棄物輸送に際しては、事前に運行計画を策定し、効率的な輸送ルートの確保や道路の混雑状況に応じた効率的な輸送を実施する
		場内輸送時のアイドリングストップなどエコドライブの徹底により、CO2排出を削減する
		来場者の輸送手段で使用する車両等について、低燃費運転の徹底や、効率的な輸送ルート設定等を行う。
		パーソナルモビリティの配置、使用ルールの策定等
		マイカーによるCO2排出の削減のため、パークアンドライドを実施
		交通需要マネジメント実施方針策定と実施
		CO2排出の削減のため、関係行政と連携し、民間事業者へ万博にアクセスするEV/FCバスの導入を促進する
		民間事業者が構築するMaaS等を用いて来場者にとって最適な来場者輸送の実施に努める
		来場者の円滑な輸送を実現するため、来場者輸送対策協議会を設立し、来場者輸送の計画を策定する
	工事関連車両の効率的稼働。エコドライブの実施	
⑧エネルギーマネジメント、温室効果ガス排出量算定によるカーボン排出の見える化の推進	万博に関連する活動に応じて温室効果ガス排出量を算定する。 エネルギーマネジメントシステム導入によるエネルギー需給把握・管理、各施設の照明・空調の使用実態把握・適正化等により、省エネルギーを推進する。	



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(3)

5つのP	個別目標	取組内容
Planet	⑧ エネルギーマネジメント、温室効果ガス排出量算定によるカーボン排出の見える化の推進	<p>会場内機器をエネルギーマネジメントシステム（VPP 技術を含む）を用いて制御する。</p> <p>会場内外のCO2フリー電源活用、会場内機器のエネルギーマネジメントシステムを用いた制御について、来場者に対して見える化することを検討する。</p> <p>データ・数字の見える化の取り組み・PR・普及啓発活動</p>
	⑨ 組織運営における省資源の徹底	<p>電子契約書導入による紙の削減を実施</p> <p>電子決裁の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン会議の徹底によるペーパーレス化の促進</li> <li>・ツーアップや両面印刷の利用</li> </ul>
	⑩ 組織運営における調達物品の再使用と再生利用調達品調達の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品や什器など環境に配慮したものを購入、備品に「協会用」「共有」のシールを貼り、共有で使用できる備品を増やす</li> <li>・詰替え商品へ切り替えるリサイクル・リユースを心がける。</li> <li>・事務用品をグリーン購入法適合商品を選択する。</li> </ul>
	⑪ 会場建設における省資源の推進	<p>建築物の簡素化・軽量化、建築材料の使用量削減をできる限り実施する。</p> <p>解体時に分別しやすい建築構造・工法をできる限り採用</p> <p>地球環境や資源の有効活用にできる限り配慮した万博会場の構築</p> <p>木材等再生可能資源利用のできる限りの促進</p> <p>資機材や建築物のできる限りのリユース</p>
	⑫ 来場者、ボランティア等を巻き込むごみの削減活動の推進	<p>入場券は電子チケットを基本とし、紙券の使用を極力無くし、森林伐採の抑制につなげる</p> <p>省資源化に向け、来場者にマイバッグの利用を促進する。</p> <p>万博におけるサーキュラーエコノミー実現に貢献するため、飲食物の提供・販売に活用できるバイオマス由来の生分解性容器の循環処理・資源化に関する実証、廃棄物処理技術やリサイクル技術を核とした資源循環に関する実証、ごみ回収×ナッジの仕組みの導入等、ごみゼロに資する技術等について実証的・実装的に積極的に導入を検討する。</p>



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(4)

5つのP	個別目標	取組内容
Planet	⑫来場者、ボランティア等を巻き込むごみの削減活動の推進	エコバックの持ち込み、ごみ等の持ち帰りを促す
	⑬会場運営におけるごみ分別の徹底	来場者が快適に過ごせるよう、ごみの回収・排出の流れや再生利用も考慮し、サブストックヤード・メインストックヤードを適切に配置する
		公式ウェブサイト等で、事前に分別に関する情報を発信する ごみの分別表示を分かりやすくする他、来場者や参加者に対する分別への協力の周知の強化に取り組む。
	⑭循環資源を活用した企画による循環型社会の見える化	スタッフ・ボランティアが着用するユニフォームは、暑さに十分考慮しつつ、サステナブル素材の活用
	⑮フードロスの削減及び食品残渣等の再活用の推進	来場者数に応じた食事数の予測・在庫の適正化・調理数のコントロール 来場者の食べきり・適量オーダー促進への意識啓発活動 フードバンク・フードシェアリングを活用した未利用食品の提供廃棄抑制 食器や飲料カップなど、リユース使用を事業者へ働きかける
		会場内で出た食品残渣について、メタン発酵によりバイオガスを生成（メタン化）することで、カーボンニュートラルガスの確保及び食品廃棄物のリサイクル率向上に寄与する。
万博におけるサーキュラーエコノミー実現に貢献するため、食品の需給予測、食品残渣の活用（バイオガス製造、堆肥化等）、食品廃棄ゼロに資する技術等を、実証的・実装的に積極的に導入する。		
⑯会場建設及び運営におけるリサイクル材、レンタル、リユース品の最大限の調達	食品提供数予測、容器・包装使用抑制等、廃棄物発生を抑制する方策について検討し、万博における廃棄物発生量を削減する。 会場整備における物品調達について、可能な限りレンタル・リースによる調達を実施、期間終了後の再利用を図る。 ゲート機器・パビリオン入館機器の可能な限りのレンタル・リユースを検討する。（レガシー活用も含め）	



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(5)

5つのP	個別目標	取組内容
Planet	⑯会場建設及び運営におけるリサイクル材、レンタル、リユース品の最大限の調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク機器について、リース・レンタルを最大限利用するための調達計画を策定</li> <li>リサイクル可能な建材の使用推奨</li> <li>催事施設での備品はレンタル品の利用を活用</li> <li>催事施設で購入した備品を可能な限りリユースする</li> <li>パビリオン出展者・協賛者に、環境に配慮した資材の調達を行うよう働きかける。</li> <li>関係企業、団体等から備蓄方法、体制等のヒアリングを実施。</li> <li>セキュリティ機器のレンタル、リース計画の策定</li> <li>駐車場建設での再生材の活用に最大限努める</li> <li>会場整備におけるレンタル・リース・中古品をできる限り活用</li> <li>建設資材についてリサイクル材を使用（グリーン購入法特定調達品目、エコマーク認定品）</li> <li>PR関連グッズ、ライセンスグッズに係る持続可能性に配慮した資源・原材料の使用・資材の調達・生産・販売の為にMLO事業者を通じ各事業者・ライセンサーへの説明会を実施</li> </ul>
	⑰廃棄物の適切な処分及び再資源化の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙ごみ、プラスチックごみなどの再資源化可能物のリサイクルに取り組む</li> <li>再資源化が難しい廃棄物は、可能な限り焼却による熱回収を進め、埋立処分を抑制する</li> <li>プラスチックレジ袋の使用を制限するため、配布抑制や紙袋などプラスチック以外の素材へ代替を実施。</li> <li>リユース以外の食器・包材は、紙・生分解性プラスチックなどの使用を事業者へ働きかける</li> <li>食品を提供する容器等に生分解性容器を導入し、来場者に分別をしてもらい、それら容器は微生物により生分解され、バイオエタノールを製造し、得られたバイオエタノール等を燃料電池等の燃料としてエネルギーを得ること、会場内での資源循環をわかりやすく表現する。</li> <li>建設リサイクル推進計画（国土交通省）に定める再資源化・縮減率等の遵守</li> <li>産廃取扱い業者との業務委託契約を通じて、重量の把握とデータ化</li> <li>建設資材のリデュース、リユース、リサイクルをできる限り推進し、廃棄物最終処分量の抑制に努める。</li> </ul>
	⑱組織運営における生物多様性配慮の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>生分解性の高い中性洗剤へ切り替える</li> </ul>



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(6)

5つのP	個別目標	取組内容
Planet	⑱会場建設における生物多様性の保全と回復	できる限りの自然環境の保全及び創造（重要種保全など環境影響評価書の取組）
	⑳水循環の適正管理の徹底	会場内飲食店で使用する洗剤は自然由来原料のものを推奨する 飲食施設にて、事業者はグリストラップを設置し、定期的な清掃を行う
Prosperity	①廃棄処理過程まで含めた、持続可能性配慮に向けた調達コードの作成	出展・協賛者およびその関係者向けの説明会（または説明資料等を作成、配布）を開催し調達コードの周知を実施。
		契約事務審査会を設置し、協会が発注する業務及び物品調達にかかる基準額以上の契約事務について、調査、審議を実施
		調達（サプライチェーン）については、持続可能性に配慮した調達の取り組み（持続可能性に配慮した調達コード、通報受付窓口）を実施。
	②調達コードの遵守に向けたサプライヤーや出展者との協力	博覧会協会では、サプライヤー、ライセンサー、パビリオン運営主体等向けの説明会等を開催し、調達コードの周知を実施。
		パビリオンタイプAに関する建設ガイドラインの策定・公表 特別規則4号
		パビリオンタイプAに関する建設ガイドラインの策定・公表 特別規則10号 商業ガイドラインの策定・公表 特別規則9号
③社会への持続可能性に関する積極的な情報発信	持続可能性に関する取組について、公式Webサイトや公式SNSなどオウンドメディアを通じた情報発信を実施	



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(7)

5つのP	個別目標	取組内容
Peace	①ダイバーシティ & インクルージョンの推進	非差別的で寛容な職場風土、安全で健康的な職場環境を確保するための窓口を設置 催事への幅広い参加の創出に向けて、広報部と連携し協会HPの見せ方を工夫し情報を公開する
	②ジェンダーバランスの実現	ジェンダーバランスの実現に向けて、パビリオン出展者審査委員会構成等の男女比率に配慮する
	③アクセシビリティの確保	会場における情報表示やアナウンスにおいて、多言語表記やピクトグラムの使用、音声を多言語及び文字で表示する技術を使った案内の導入等（デジタルサイネージ）を検討
		視覚障がい者への配慮として、視覚障がい者誘導用ブロック等の対策を検討
		知的・精神・発達障がい者等への配慮として、多目的室の設置を検討
		子供連れ利用者への配慮としては、授乳室の整備等を検討
		高齢者への配慮として、休憩用ベンチの設置等を検討
		タッチパネル入力などITに不慣れな来場者に対し、ゲートや案内所における入力補助等の支援
		トイレについては、様々な利用者を想定した多様なバリアフリートイレ、男女それぞれの一般トイレにはオストメイト対応や親子対応の大型ブース等を設置
		「未来社会ショーケース」として開催期間においては、多言語自動翻訳を積極的に活用する
		ピクトグラム、サイネージ、音声ガイド等の利活用を検討。
		安全対策協議会（防災分科会）において、過去事例等を検討し、危機管理に係る規程やマニュアルに反映
		障がいのある方等のレーンの設置、多言語表示による案内、最新機器の導入によるストレスの少ないセキュリティチェックを積極的に検討
障がいをお持ちの方やITリテラシーの低い方でも購入しやすい販売手法のスキームを確立する		
来場者の移動支援として、会場内を巡回するEVバスを導入。乗降しやすい車両を運行		
会場内では車いす使用者等がスムーズに乗降できるEVバスを利用するとともに、来場者や関係者への配慮として、案内サインはピクトグラムや多言語表記等を検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティに配慮した公式Webサイトの構築</li> <li>・個人情報の取扱いに留意したWebサイトを運営するために、GDPR、cookie対応などを検討</li> </ul>		



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(8)

5つのP	個別目標	取組内容
Peace	③アクセシビリティの確保	公式参加者宿舎から会場まで、公共交通機関での通勤が不便な場合スムーズに通勤していただくためのシャトルバス運営
		UDガイドライン作成
		ルールに基づいた刊行物や制作物を推奨するために、ビジュアル・アイデンティティを策定し配布
		オンライントークイベントでの手話通訳または字幕放送の実施
		着任時に多目的トイレの場所を記載した地図を配布
	④安心して参加できる環境の整備	給水スポットの設置等、観客向けの暑さ対策の検討を実施
		気象情報の適切な提供、飲料水の補給呼びかけ、日よけグッズの配布、医療救護施設、救急車の適切な配置
		感染症の専門家を招いた感染症対策検討会議を実施し、ハード、ソフト面での対策に反映
		こまめに消毒する
	⑤働きやすい職場環境を実現し、職員のモチベーションを向上	人権労働問題を適宜把握・連絡できる体制の構築
		役員との定期的な意見交換会の実施
		産業医による健康セミナーの開催、健康相談対応
		ストレスチェックの実施
		可能な部署にてフリーアドレスを推進することにより、課内コミュニケーションの活発化を図る
		月1日以上の休暇取得
労働時間管理の徹底（長時間残業・有休所得率等）、NO残業デーの設定（個人毎に月1日設定する）		
時差出勤、在宅勤務を行い多様な働き方の実現		
イントラなどの活用で、進捗状況の見える化		
ハラスメント事象以外にも、業務の増大により増加する可能性があるメンタル面の問題に対応するメンタルヘルスケア相談窓口を設置する。		
ハラスメント事象防止やコンプライアンスを遵守させるための職員研修を充実させる。		



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(9)

5つのP	個別目標	取組内容
Peace	⑥過重労働を防止し、良好な就業環境を確保	持続可能性に配慮した調達コードに係る通報受付窓口を設置し、労働環境に関する通報体制を整備
	⑦多様な人々への配慮	<p>【スタッフ・関係者のユニフォームデザインにおける配慮】スタッフのユニフォームデザインの柱の1つとして「ダイバーシティ」を掲げ、ユニセックスデザインも取り入れていく。</p> <p>年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、スタッフ及びボランティアを採用</p> <p>年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、ボランティアを公募</p> <p>多様な宗教文化に対応するため、来場者・スタッフが利用できる多目的室を設置</p> <p>宗教・性別等に配慮した医療・警備等の実施</p> <p>宗教的・文化的に配慮した飲食の提供</p>
Partnership	①持続可能性の認知向上を目指す人材育成の実施	<p>全てのスタッフ、ボランティアを対象とした研修（集合研修、e-ラーニング）においても、D&amp;I（ダイバーシティ&amp;インクルージョン）の考え方やサポートにおける基本姿勢・サポート方法を学習する機会を設定</p> <p>全てのスタッフ、ボランティアを対象とした研修（集合研修、e-ラーニング）においても、万博の持続可能性の概念や、ボランティア一人ひとりが実践できる持続可能性の取り組みを紹介し、持続可能な万博の実現に向けた行動を促進</p> <p>持続可能性に関する主要マイルストーンに対する進捗フォロー（プロジェクトマネジメント活動と連動）</p> <p>全職員に対する、万博の持続可能性の重要性について教育を実施。</p> <p>博覧会協会内の各部署に設置した持続可能性の責任者及び担当者に対する説明会を通じて、持続可能性に関する情報共有を実施。</p>
	②持続可能性に関する理解、行動促進に向けた世界への情報発信	<p>障がいのある人や多様なニーズを有する人々に万博を楽しんでもらうため、関係諸団体にアクセシビリティの計画に関与を依頼。</p> <p>主催者催事の推進時における持続可能性に関する連携・協働、意見交換の実施</p> <p>各アンバサダーのSNS等での情報発信促進のため、定期的な情報共有を実施</p> <p>各スペシャルサポーターのSNS等での情報発信のため、情報共有を実施</p> <p>広く万博テーマの理解促進のため、各自治体で開催されるイベント、セミナーへ参加し、啓蒙活動を実施。</p> <p>メモリアルイベント等における持続可能性浸透・理解促進普及を図るプログラムの導入</p> <p>PR関連グッズ、ライセンスグッズへの積極的なロゴマーク、キャラクターの活用</p>



# 個別目標と紐づく各部署の取組について(10)

5つのP	個別目標	取組内容
Partnership	③持続可能性に関する理解、行動促進に向けた世界への情報発信	国際フォーラムを実施し、公式参加国、国際機関との連携強化および情報発信、EXPO PLL TALKS等を実施することによる一般市民、企業、自治体の連携強化および情報発信 SDGsに関係しそうな情報をSNSで拡散する・PR・普及啓発活動
	④様々な関係機関と連携し、持続可能性に関する理解を促進	要求事項を特定し、定期的に更新することにより、協会のESMSのISO20121認証及び運用を支援する。 協会のESMSのISO20121認証及び運用に係る規程類のうち所管するものについての制定・改定、整備を行う。 協会のESMSのISO20121認証及び運用に係る規程類のうち所管するもの、また関連のある法令について、職員への理解を促す。 コンプライアンス体制の構築 UDガイドラインの障がい当事者参画による改定 大学や企業との共創活動によるコラボ展示を実施（石黒館） 共同プロジェクトでの取り組みによるプロデューサー-企業および企業間のパートナーシップを構築 協会と他機関との包括連携協定等文書の締結を調整する。 ステークホルダー（METI、大阪府市等）との定期的な連絡会議の実施。METI・推進本部との定例会議、大阪府市との定例会議等の事務局としてESMS推進にあたり必要な議題を設定する。 自然保護団体等への情報共有等 持続可能性に関する理解促進のため、小学生・中学生を対象に教育プログラムを実施 共創パートナー参画企業への働きかけ
	⑤誰もが自由に参加でき、SDGs達成に資するチャレンジができる機会の提供	物理的に来場したくてもできないかたにも万博を体験いただくオンライン上のバーチャル万博を実現 平等に全ての企業・団体が参加できる機会の提供として万博参加の説明会を実施 自治体やプログラム参画済企業を通じた、TEAM EXPO2025プログラム参画の促進 TEAM EXPO 2025 プログラム参画者による自活動と「SDGsとの関わり」についての説明の実施
	⑥都道府県（及び政令指定都市、基礎自治体）と連携した持続可能性のための活動の促進	自治体を主体とした全国的な万博出展・参加体制の構築を目指し、全国の都道府県において、万博への参加の仕方を周知し、参加プロジェクトを組成するのを手伝う。



## 代表的指標の設定について



# 持続可能な大阪・関西万博全体の持続可能性に関する 代表的指標の設定について

「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた計画」（持続可能性行動計画）に掲げる万博全体の代表的指標については、以下の考え方により設定する。

①「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」にて、  
5つのP「目指すべき方向」を公表

※5つのP（People・Planet・Prosperity・Peace・Partnership）

②各部署において個別目標を作成

③各部署の目標をベースに大目標である「5つのP」との関連を見つつ  
万博全体の代表的指標を作成

※「5つのP」をまたがる目標も見られたため、5つのPごとの指標という形はとらない。

④全体の「目指すべき方向」、全体の代表的指標、個別目標・指標に基づいて  
PDCAを回す



持続可能性方針の5つのPと取り組むべき方向性及び各部署から上がってきた目標に基づき、博覧会の代表的指標を以下の方向性で検討する。  
以下5つの項目を示しているが、東京2020にならって最終的には一つの項目につき複数の項目となることを妨げず、全体として10以下とする。

## ●インクルーシブな万博運営に関する指標

- ・会場内の施設整備に関するユニバーサルデザインガイドラインを策定し、開催者はガイドラインに沿った会場整備を行うとともに、参加者はガイドラインに従いパビリオン等の設計・建設を行うことにより、アクセシブルでインクルーシブな博覧会会場を整備する。
- ・ガイドラインの策定、施設整備にあたっては障がい当事者等の参画による意見反映を積極的に行う。
- ・誰もが楽しめる万博運営を行うため『ユニバーサルサービスガイドライン』を作成し、協会・出展（店）者・参加者が一体となって、より良いサービスを提供する。  
(具体的な指標については今後検討)

## ●カーボンニュートラル実現に関する指標

- ・カーボンニュートラル実現に向けて対象となる期間、バウンダリ（温室効果ガス排出量の算定範囲）、対策に関して脱炭素WGにて検討し、2022年度末をめどに目標を設定する。



## ●サーキュラーエコノミーに関する指標

- ・会期中及び会期前後も含めたサーキュラーエコノミー実現に向けて、3R+リニューアブル（Renewable）に関して、2022年度末をめどに目標を設定する。

## ●地域産業への活性化寄与に関する指標

中小企業の参画数を増やしていく。（具体的な指標については今後検討）

## ●一人一人がつながるコミュニティ形成に関する指標

- ・「TEAM EXPO 2025」に参加いただいている「共創チャレンジ」「共創パートナー」を中心に様々な方が参加し、新たな「共創チャレンジ」を生み出し・育てていく場（デジタル・リアル）を提供。
- ・より多くの方が自分事として参加でき、共創につなげていけるよう、テーマウィークでのテーマを中心に、SDGs + beyondに関連するテーマを掲げ、参加者を募る（具体的な指標は今後検討）。



指標の  
方向性

- ・会場内の施設整備に関するユニバーサルデザインガイドラインを策定し、開催者はガイドラインに沿った会場整備を行うとともに、参加者はガイドラインに従いパビリオン等の設計・建設を行うことにより、アクセシブルでインクルーシブな博覧会会場を整備する。
- ・ガイドラインの策定、施設整備にあたっては障がい当事者等の参画による意見反映を積極的に行う。
- ・誰もが楽しめる万博運営を行うため『ユニバーサルサービスガイドライン』を作成し、協会・出展（店）者・参加者が一体となって、より良いサービスを提供する。

(具体的な指標は別途検討)



## 【主に関連性のある5P】 People

生態系を構成するすべての「いのち」を守り育てることの大切さを訴求する。

### 【目指すべき方向】

大阪・関西万博は「Society5.0」の実現や社会課題の解決に向け、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマを実現するアプローチとして「People's Living Lab」というコンセプトを採用し、いのちや食、学び等の多様な価値が創出されるよう取り組む。

## 【主に関連性のある5P】 Peace

多様な人々が積極的に、また安心して参加できる環境を整えるとともに、大阪・関西万博からテーマに基づく多様な考え方を発信できるよう、一人一人を尊重したインクルーシブな万博運営を目指す。

### 【目指すべき方向】

国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に則った万博運営を実現する。  
万博の準備・運営に関わる多様な人々の健全で良好な就業環境の確保等に取り組む。



指標の 方向性	カーボンニュートラル実現に向けて対象となる期間、 バウンダリ（温室効果ガス排出量の算定範囲）、 対策に関して脱炭素WGにて検討し、 2022年度末をめどに目標を設定する。
------------	--

## 【主に関連性のある5P】 Planet

国際的合意（「パリ協定」、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」）の実現に寄与する会場準備、運営を目指す。

### 【目指すべき方向】

- ①省CO2・省エネルギー技術の導入や再生可能エネルギー等の活用により、温室効果ガス排出量の抑制に徹底的に取り組む。



指標の 方向性	会期中及び会期前後も含めたサーキュラーエコノミー実現に向けて、3R+リニューアブル（Renewable）に関して、2022年度末をめどに目標を設定する。
------------	--

## 【主に関連性のある5P】 Planet

国際的合意（「パリ協定」、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」）の実現に寄与する会場準備、運営を目指す。

### 【目指すべき方向】

②リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）、可能な部材等を積極的に活用する3R、またリニューアブル（Renewable）に取り組み、資源の有効利用を図る。



指標の  
方向性

## 中小企業の参画を増やしていく。

※参画の定義については、催事・イベント等の詳細が明らかになった時点で決定する

### 【主に関連性のある5P】 Prosperity

「もの」だけでなく、「生活」を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見をレガシーとして、次世代に継承する。

#### 【目指すべき方向】

②会場の整備・運営において、民間企業と連携することにより、地域産業の活性化に寄与する。

### 【関連性のある5P】 Partnership

誰もが参加でき、自由にアイデアを交わせる機会を提供する。その中で一人一人がつながりコミュニティが形成されることを目指す。

#### 【目指すべき方向】

企業、教育・研究機関、国・政府関係機関、国際機関、自治体、NGO/NPO、市民団体等と共に、大阪・関西地域を中心とした日本の魅力を世界へ発信する。

また、会期前から多様な参加者がそれぞれの立場からの取り組みを持ち寄り、SDGs達成に資するチャレンジを会場内外でおこない、未来社会をただ考えるだけでなく、行動することによってリアルに描き出そうという試みを大阪・関西万博の特徴とする。



<p>指標の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「TEAM EXPO 2025」に参加いただいている「共創チャレンジ」「共創パートナー」を中心に様々な方が参加し、新たな「共創チャレンジ」を生み出し・育てていく場（デジタル・リアル）を提供していく。</li><li>・より多くの方が自分事として参加でき、共創につなげていけるよう、テーマウィークでのテーマを中心に、SDGs + beyondに関連するテーマを掲げ、参加者を募る。</li></ul> <p>※数値目標は今後検討</p>
--------------------	--

## 【関連性のある5P】 Partnership

誰もが参加でき、自由にアイデアを交わせる機会を提供する。その中で一人一人がつながりコミュニティが形成されることを目指す。

### 【目指すべき方向】

企業、教育・研究機関、国・政府関係機関、国際機関、自治体、NGO/NPO、市民団体等と共に、大阪・関西地域を中心とした日本の魅力を世界へ発信する。

また、会期前から多様な参加者がそれぞれの立場からの取り組みを持ち寄り、SDGs達成に資するチャレンジを会場内外でおこない、未来社会をただ考えるだけでなく、行動することによってリアルに描き出そうという試みを大阪・関西万博の特徴とする。



## (参考) 目指すべき方向が示されているが指標としない項目

以下については、  
定量目標設定が困難な項目もあること、  
定性的に記述しても目指すべき方向とそう変わらないこと、  
指標は全体の数を絞っていくという方針から  
全体の指標としては設定は行わず、持続可能性行動計画の中で個別目標の検討を行い、  
目指すべき方向と個別目標・指標に基づきPDCAを回すこととしたい。

### 【主に関連性のある5P】 Planet

国際的合意（「パリ協定」、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」）の実現に寄与する会場準備、  
運営を目指す。

#### 【目指すべき方向】

- ③沿岸域における生態系ネットワークの重要な拠点として、会場内の自然環境・生態系の保全・回復に取り組む。また「ポスト2020生物多様性枠組」の交渉経緯を注視しそれに則った取り組みを検討する。

### 【主に関連性のある5P】 Prosperity

「もの」だけでなく、「生活」を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見を  
レガシーとして、次世代に継承する。

#### 【目指すべき方向】

- ①持続可能な調達コードを遵守したサプライチェーンを構築し、加えて資源の循環的な利用及び処分までの過程を含むバリューチェーン全体を通じた持続可能性に配慮する。



# 「5つのP」と指標の関係について

5つのP	目指すべき方向
<b>People</b>	大阪・関西万博は「Society5.0」の実現や社会課題の解決に向け、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマを実現するアプローチとして「People's Living Lab」というコンセプトを採用し、いのちや食、学び等の多様な価値が創出されるよう取り組む。
<b>Planet</b>	①省CO2・省エネルギー技術の導入や再生可能エネルギー等の活用により、温室効果ガス排出量の抑制に徹底的に取り組む。
	②リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) 可能な部材等を積極的に活用する3R、またリニューアブル (Renewable) に取り組み、資源の有効利用を図る。
	③沿岸域における生態系ネットワークの重要な拠点として、会場内の自然環境・生態系の保全・回復に取り組む。また「ポスト2020生物多様性枠組」の交渉経緯を注視しそれに則った取り組みを検討する。
<b>Prosperity</b>	①持続可能な調達コードを遵守したサプライチェーンを構築し、加えて資源の循環的な利用及び処分までの過程を含むバリューチェーン全体を通じた持続可能性に配慮する。
	②会場の整備・運営において、民間企業と連携することにより、地域産業の活性化に寄与する。
<b>Peace</b>	国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に則った万博運営を実現する。万博の準備・運営に関わる多様な人々の健全で良好な就業環境の確保等に取り組む。
<b>Partnership</b>	企業、教育・研究機関、国・政府関係機関、国際機関、自治体、NGO/NPO、市民団体等と共に、大阪・関西地域を中心とした日本の魅力を世界へ発信する。 また、会期前から多様な参加者がそれぞれの立場からの取り組みを持ち寄り、SDGs達成に資するチャレンジを会場内外でおこない、未来社会をただ考えるだけでなく、行動することによってリアルに描き出そうという試みを大阪・関西万博の特徴とする。

代表的指標 (案)
カーボンニュートラルの実現
サーキュラーエコノミーの実現
中小企業の参画
ユニバーサルデザインの推進
「TEAM EXPO 2025 (SDGs共創事業)」の推進

5つのPはすべての指標につながるが、関係の深いものだけ図示。

